

平成 2 7 年度

熊本<sup>くま</sup>県学力調査  
「ゆうチャレンジ」  
小学校 第 6 学年 国語

- 問題は 1 ～ 4 で、9 ページまであります。
- 1 は、放送による問題です。放送が終わるまで、問題を開いてはいけません。
- 答えは、問題用紙の「解答らん」に書いてください。

年 組 番	
名 前	

熊 本 県 教 育 委 員 会

今、聞き取ったことと、次の【青木さんの発表のあとの話し合い】を読んで、あとの問題に答えましょう。

【青木さんの発表のあとの話し合い】

日直	質問や感想はありませんか。中山さん、どうぞ。
中山	はい。青木さんの発表は、最初に、本を見せながらしようかいていたので、とても興味がわきました。ぼくが発表するときも、まねしたいと思いました。
日直	ありがとうございます。中山さんに付け加えて、青木さんの発表は、（①）のような構成になっていて、とても分かりやすくなっていたと思います。ほかにありませんか。山田さん、どうぞ。
山田	はい。私は、青木さんがしようかいする理由の一つ目の、「情景が目にかぶような表現」というところに共感しました。なぜなら、以前、国語の授業で宮沢賢治 <small>みやざわけんじ</small> さんが書いた物語について学習したときのことを思い出したからです。そのとき、「作者がくふうしている表現」というものを学びました。青木さんが例として挙げた、「銀色の空のすすき」や「青白く光る銀河」のような色を表す言葉や、「風がどうとふいてきて」や「ぼかぼか流れていく」のような、特別な表現がありました。
日直	そうですね。以前、学習しましたね。ほかにありませんか。
小川	はい。ぼくは、ぜひ、この本を読んでみたいと思いました。理由は、青木さんが心に残ったと言っていた「みんなの幸せ」という言葉が、ぼくも心に残ったからです。以前、友だちが落としたものを拾 <small>ひろ</small> ってあげたことがあります。そのとき、友だちがとても喜んで「ありがとうございます」と言ってくれました。青木さんと同じように、人の役に立って、心がほかほかと温かくなった経験を思い出しました。
日直	小川さんは青木さんの発表を聞いて、心が温まった経験を話してくれました。ありがとうございます。

（１）（①）には、青木さんの発表の構成が入ります。青木さんはどのような構成で話していましたか。最も適切なものを、次の１から４までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

ア	すいせんする理由	１	イ ↓ ア ↓ ウ ↓ エ
イ	すいせんする本の題名	２	エ ↓ ア ↓ イ ↓ ウ



ウ 具体的な体験や経験など	エ すいせんする本の作者
------------------	-----------------

3 イ ↓ エ ↓ ア ↓ ウ  
4 ア ↓ エ ↓ ウ ↓ イ

①

(2) 【青木さんの発表のあとの話し合い】で、中山さんと山田さんと小川さんは、どのような意図で感想を言っていますか。

- ふさわしいものを、次のアからエまでのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その記号を書きましょう。
- ア 青木さんの発表で心に残ったことについて、もう一度聞いてくわしく知りたいと思って話している。
- イ 青木さんの発表で心に残ったことについて、授業で学習したことと関連付けながら話している。
- ウ 青木さんの発表の仕方について、自分が発表するときの参考にしたいと思って話している。
- エ 青木さんが心に残った言葉の例と、関連した自分の経験を思い出して話している。

中山さん

②

山田さん

③

小川さん

④

(3) 次は、あなたがおすすめの本をしようかいする番です。あなたは発表に向けて準備をしています。あなたなら何の本を、どのようにしようかいたしますか。上の【条件】にしたがって、左の□に書きましょう。

【条件】

- ① 最初に、おすすめの本の題名を書くこと。
- ② 次に、すすめる理由を具体的な経験と結びつけて書くこと。

わたしのおすすめの本は（

）です。

④ ③

2

次の問題に答えましょう。

(1) 次の文の――部の漢字の読みを、ひらがなでいいねいに書きましょう。

⑤

く

⑥

⑦

① 責任が重い。

② むだを省く。

③ 計画を改善する。

(2) 次の文の――部のひらがなを、漢字でいいねいに書きましょう。

ない

⑧

⑨

⑩

① あぶない場所。

② 歩いておうふくする。

③ うちゅう飛行士になる。

(3) 次の①から③の文の主語として適切なものを、アからエまでのの中からそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましょう。

① いい | においが | 風で | 広がった。

② ぼく | の | 妹の | たん生 | 日は | 五月二日だ。

③ ち | ょ | う | 上 | から | 見 | える | 景 | 色 | は | す | ば | ら | しい。

⑪

- (4) 次は、熊本県出身の中村汀女さんがよんだ俳句です。この俳句で季節を示す言葉（季語）は何ですか。左の  に書きましよう。

咳の子の なぞなぞあそび きりもなや

⑫

- (5) 次の一文を二つの内容に分けて、二文に書き直します。一つ目の文の終わりの五文字と、つなぎ言葉、二つ目の文のつなぎ言葉に続く五文字を書きましよう。（ ）の中にはつなぎ言葉を書きましよう。

わたしは、マラソンの練習があまりできなくて不安だったが、大会ではゴールまで走ることができた。

わたしは、

。

）、

うできた。

（それぞれの文の途中の言葉はしう略しています。）

⑬

- (6) 次は、お世話になった山田さんに出す、お礼の手紙を入れるふうとうの表の下書きです。あて名について、どのように書き直すとよいか、下の  に一文で説明しましよう。

〒

8123456

青空市一丁目五番地  
山田たけし様

⑭

3

熊本県についてしようかいしているパンフレットを読んでいた木村さんは、熊本県が「水の国」と呼ばれていることを知りました。「火の国」と呼ばれていることは知っていましたが、なぜ「水の国」なのか疑問に思った木村さんは、図書館へ行き、次の資料を見つけました。【資料】をよく読んで、あとの問題に答えましょう。

【資料】

水の国くまもと



火の山「阿蘇」に象徴される「火の国くまもと」は、また、豊かな地下水に恵まれた「水の国くまもと」でもあります。県内には、白川水源や池山水源をはじめとして、千カ所を超える湧水源があり、県民が生活に使う水の約八割を天然地下水でまかなっています。特に百万人の人々が暮らす熊本市とその周辺地いきにおいては、ほぼすべて、地下水を生活用水として使っています。

それでは、豊かな水に恵まれた「水の国くまもと」の魅力をさぐってみましょう。

A

日本は、世界でも雨の多い国で、一年間に、平均約一七〇〇mmの雨が降ります。中でも、熊本は、一年間に二〇〇〇mm、三〇〇〇mm以上の雨が降ります。降った雨の三分の一は蒸発し、三分の一は川となり、残りの三分の一が地下水となります。雨が降り、地下水に恵まれている理由の一つです。

B

雨水は、森や草原などからゆっくり地中にしみこみます。そして、長い歳月をかけて地中でみがかれ、やがて清らかなわき水となって、地上へわき出します。

その水はやがて川となり、地表を流れ、あるいは田畑をうるおしながら、その一部は、ふたたび地下水となり、海へと注ぐのです。そして、太陽の力によって水はまた空へとのぼり、雲となり、雨となって再び地上へと降り注ぎます。

こうして絶えることのない「水の旅」がくり返されます。

C

約四二〇年前、ひごの国（現在の熊本県）のこの様であった加藤清正は、各地にせきと用水路を作り、水田開発に取り組みました。水がしみこみやすい土地に水田を開いたことで、ますます地下水が豊富になりました。

D 守りたい熊本の宝

この豊かな水の恵みは、大自然の営みと先人の努力によって育まれたかけがえない熊本の宝であり、県民のくらしや産業を支えてきました。また、県民の生活用水の多くが地下水でまかなわれていることは、世界にもほこれるものです。

大自然と先人からいただいた水の恵みを未来の人々に受けつぐため、わたしたちは、「水の国くまもと」を守っていかねければならないのです。

※象徴・・・「火の国くまもと」を具体的に表すもののこと。

※湧水源・・・地中から水がわき出すところのこと。

※天然・・・人の力が加わっていない自然のままの状態のこと。



熊本小学校では、五年生と六年生の全員が委員会活動に参加します。六年生の山下さんたちは、ボランティア委員会に参加し、【活動報告の新聞】を書きました。そして、【編集会議】を開いたときに出された意見をもとに書き直しています。よく読んで、あとの問題に答えましょう。

# 【活動報告の新聞】

## ボランティア新聞

発行：  
熊本小学校  
ボランティア  
委員会

### 活動内容

わたしたち、ボランティア委員会では、みなさんに「しあわせ」をはこぶための活動をしています。

### 今日も、「しあわせ」をはこびます！

みなさんは「ボランティア」の意味を知っていますか。「ボランティア」とは、世の中のためになることを自分から進んで行うことです。全国でも有名なくまモンは、県の「しあわせ部長」という役割で、たくさんの人がしあわせになるためにがんばっています。わたしたちボランティア委員会も「みなさんがしあわせになるために、自分にできることをせいいっぱいがんばる」ことを目標にして、活動しています。

四月

五月～六月

七月～九月

十月～十一月

十二月～一月

二月～三月

活動内容決定・あいさつ運動

校庭の草取り

リサイクル活動（アルミかんを集める）

落ち葉はき

交流活動（予定）

あいさつ運動（予定）

一年間の活動を右のように計画して、実行してきました。

四月のあいさつ運動では、正門に立ち、大きな声とえがおを心がけてあいさつをしました。一人一人に声をかけたので、入学して間もない一年生の不安な気持ちを少なくすることができたと思います。

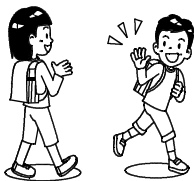
五月と六月には、校庭の草取りをし



ました。運動会にはたくさんの方々が来られるので「気持ちよくおむかえしよう」という思いで活動することができました。運動会の日になりましたね。」と笑顔で話しておられたのは、とてもうれしかったです。

七月～九月のリサイクル活動では、アルミかん集めをしました。わたしたちの呼びかけにこたえて、みんなが一人かん以上、持ってきてくれました。ありがとうございます。十月～十一月は、落ち葉はきをしました。すがすがしい風がふく朝、正門付近から校舎の周りをはきました。

十二月からは、交流活動とあいさつ運動を予定しています。





【編集会議】

山下	① いろいろとくふうをして、活動報告の新聞を作ったつもりだけど、よく伝わるかしら。
木村	うん。よく伝わると思うよ。ただ、一段目 <sup>だん</sup> の見出しに比べて、二段目の見出しが「活動内容」となっているのは、くふうが足りないと思うよ。どうかな。
山下	② そうね。二段目の見出しをもう少しくふうした方がいいわね。
川上	三段目についてんだけど、十二月からの活動は、これからの予定だよ。二月から三月のあいさつ運動は四月と同じだから、みんな分かつと思うよ。でも、十二月から一月の交流活動は、読み手には分からないよね。どんなことをするのか説明した方がいいと思うよ。

(1)

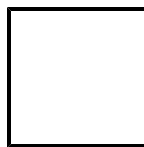
——部①「いろいろとくふうをして」とありますが、新聞の書き方のくふうとして最もふさわしいものを、次のアからエまでのの中から一つ選んでその記号を書きましょう。

ア 記事の内容がよく伝わるようにグラフを用いて書いている。

イ 活動の内容がよく伝わるように事実と感想を交えて書いている。

ウ 委員のがんばりがよく伝わるように活動が多かつた月を選んで書いている。

エ 書き手の思いがよく伝わるように質問と答えを書いている。



㉑

(2)

——部②「二段目の見出し」とありますが、山下さんたちは、次の【見出しの候補】の中から川上さんが考えたものを選びました。川上さんの見出しは、どのような効果をねらって、どのように、表現をくふうしていますか。その説明として最も適切なものを、あとのアからウまでのの中から一つ選び、その記号を書きましょう。

【見出しの候補】

山下	ボランティアをやってみよう
木村	そうじゃあいさつの大切さ
川上	ボランティアで広がるえがお



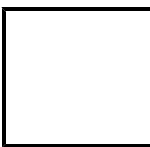
【実際に選んだ見出し】

ボランティアで広がるえがお

ア 実際に活動した内容を具体的に示すために、ボランティアの内容を複数ならべている。

イ 読み手の興味をひくために、文末を呼びかける言い方になっている。

ウ 伝えたいことの中心を明確にするために、強調したい言葉を最後に置いている。



㉒

(3)

【編集会議】で話題になった、十二月～一月の活動について、山下さんは次の【資料】をもとにして、交流活動の内容を委員のみんなに提案します。あなたなら、次の【提案書】の□の部分にどのような文章を書いて提案しますか。次の【条件】にしたがって書きましょう。

【資料】

【条件】

①

【資料】にあることを使って、最初に、交流活動の内容を示し、

次に、提案する理由を呼びかけるように書くこと。

② 文の終わりは敬体（～です。～ます。）とし、漢字や言葉づかいなどを正しく書くこと。

【提案書】

十二月～一月のボランティア委員会の交流活動として、「地いきのおじいさんやおばあさんとの交流会」を提案します。

交流会の内容は、

○インタビューしたときの地いきの方の声

- ・ぜひ、熊本小学校に行って、子どもたちの様子を見たい。
- ・小学生のみんなといっしょに遊ぶと楽しいだろうな。
- ・わたしたちが子どもだったころの遊びを教えたい。
- ・いつもあいさつをかわしている子どもたちの学校での様子を見てみたい。



地いきのおじいさんやおばあさんとの交流会について

○目的

- ・登下校の見守りで、いつもお世話になっている地いきの方へ、感謝の気持ちを表す。

○内容

- ・地いきのお年寄りの方をおむかえして昔遊びをする。
- ・各学年で歌や音読など学習したことを発表する。

## わたしの提案

これで、問題は終わります。